

ミライアル株式会社

2015年1月期 第1四半期 決算説明資料

2014年6月9日

2015年1月期 第1四半期決算概要 ……

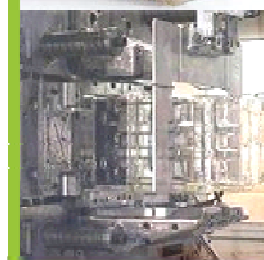
p. 1

2015年1月期業績予想 ……

p. 6

経営戦略 ……

p.8





2015年1月期 第1四半期決算概要

～ 1. 売上高/経常利益の比較

■ 決算概要

✓ 売上高: 2,289百万円 (前年同期比 14.4%増)

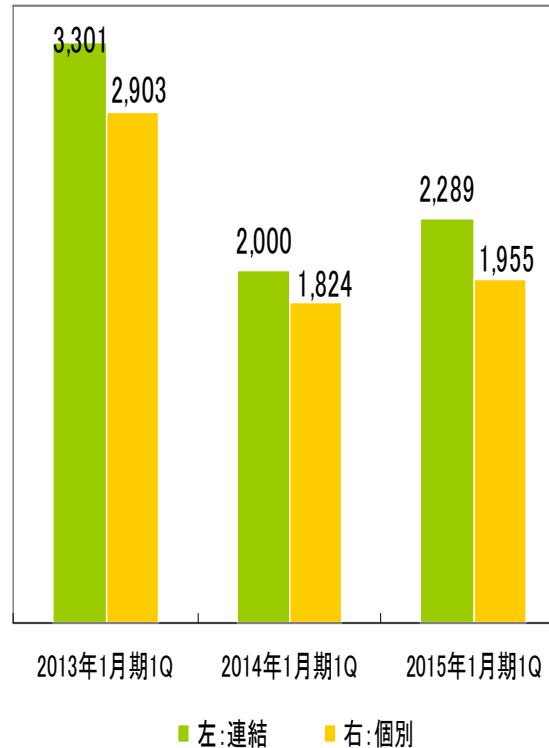
プラスチック成形事業(当社グループ主力事業)の主要販売先である半導体業界は、昨秋以降続いていた生産調整・在庫調整の動きが一服し、回復局面にあります。それに応じ、シリコンウエハ需要は、過熱とも言える増加を示しており、当事業の主力製品である300mmシリコンウエハ出荷容器「FOSB」も、出荷数が6四半期振りに増加しました。しかしながら、半導体業界全体として本格的な構造変化は見え、先行きに調整局面が懸念される状況と見ております。

✓ 経常利益: 253百万円 (前年同期比 41.6%増)

営業利益は前期比ほぼ横ばいで推移しましたが、保険解約返戻金収入やメガソーラーによる売電収入の影響もあり、経常利益は前期比で増益となりました。

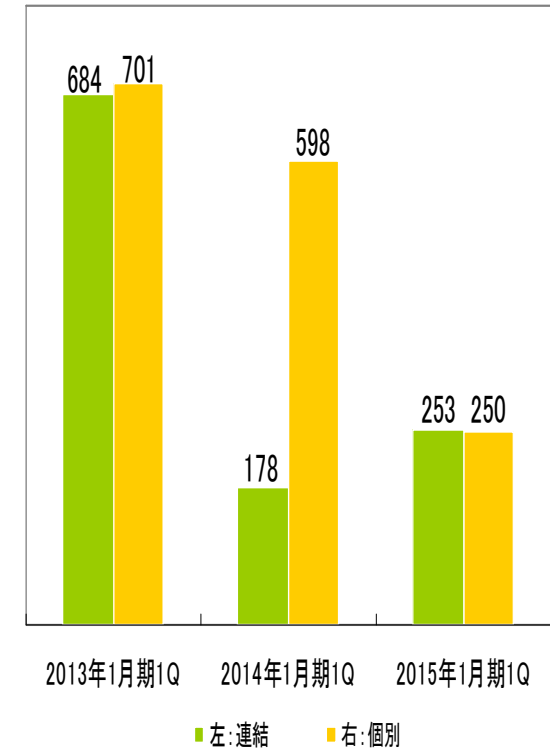
売上高

(単位:百万円)



経常利益

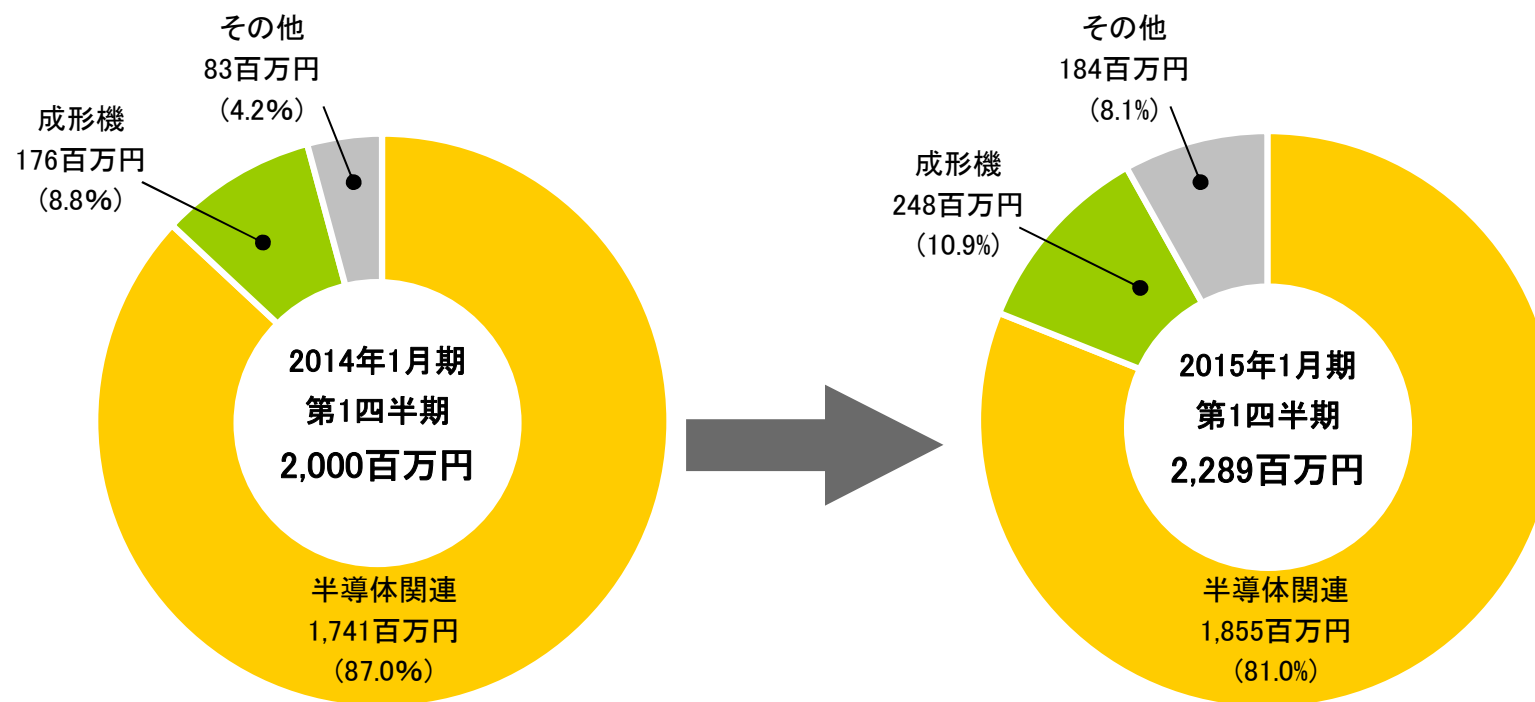
(単位:百万円)





2015年1月期 第1四半期決算概要 ～ 2. 事業別売上高の比較

事業別売上高(連結)





2015年1月期 第1四半期決算概要

～ 3. 業績の概要

連結業績

(単位:百万円・%)

	2014年1月期 第1四半期		2015年1月期 第1四半期	
	金額	前期 増減率	金額	前期 増減率
売上高	2,000	△39.4	2,289	14.4
売上総利益	598	△51.2	620	3.7
営業利益	164	△75.6	188	14.2
(営業利益率:%)	(8.2)		(8.2)	
経常利益	178	△73.8	253	41.6
税引前当期純利益	178	△70.3	309	73.0
当期純利益	111	△65.4	208	86.6
設備投資	39		223	
減価償却	143		126	
純資産	16,837		15,050	
総資産	19,689		18,083	

個別業績

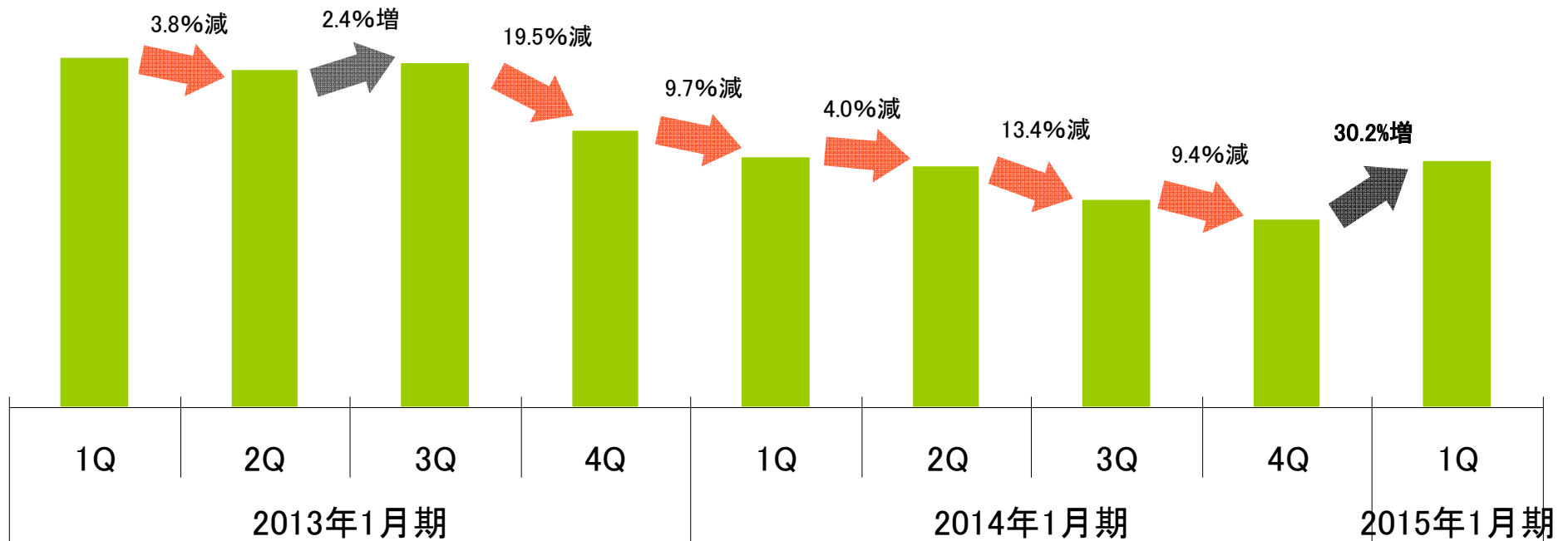
(単位:百万円・%)

	2014年1月期 第1四半期		2015年1月期 第1四半期	
	金額	前期 増減率	金額	前期 増減率
売上高	1,824	△37.2	1,955	7.2
売上総利益	553	△49.8	534	△3.4
営業利益	192	△72.5	186	△2.8
(営業利益率:%)	(10.5)		(9.5)	
経常利益	598	△14.6	250	△58.2
税引前当期純利益	598	△14.6	250	△58.2
当期純利益	532	28.0	156	△70.7
設備投資	39		169	
減価償却	139		113	
純資産	16,855		14,658	
総資産	19,157		17,210	



2015年1月期 第1四半期決算概要 ～ 4. 半導体関連製品事業の業績

シリコンウエハ出荷容器 売上高の推移 (四半期毎)

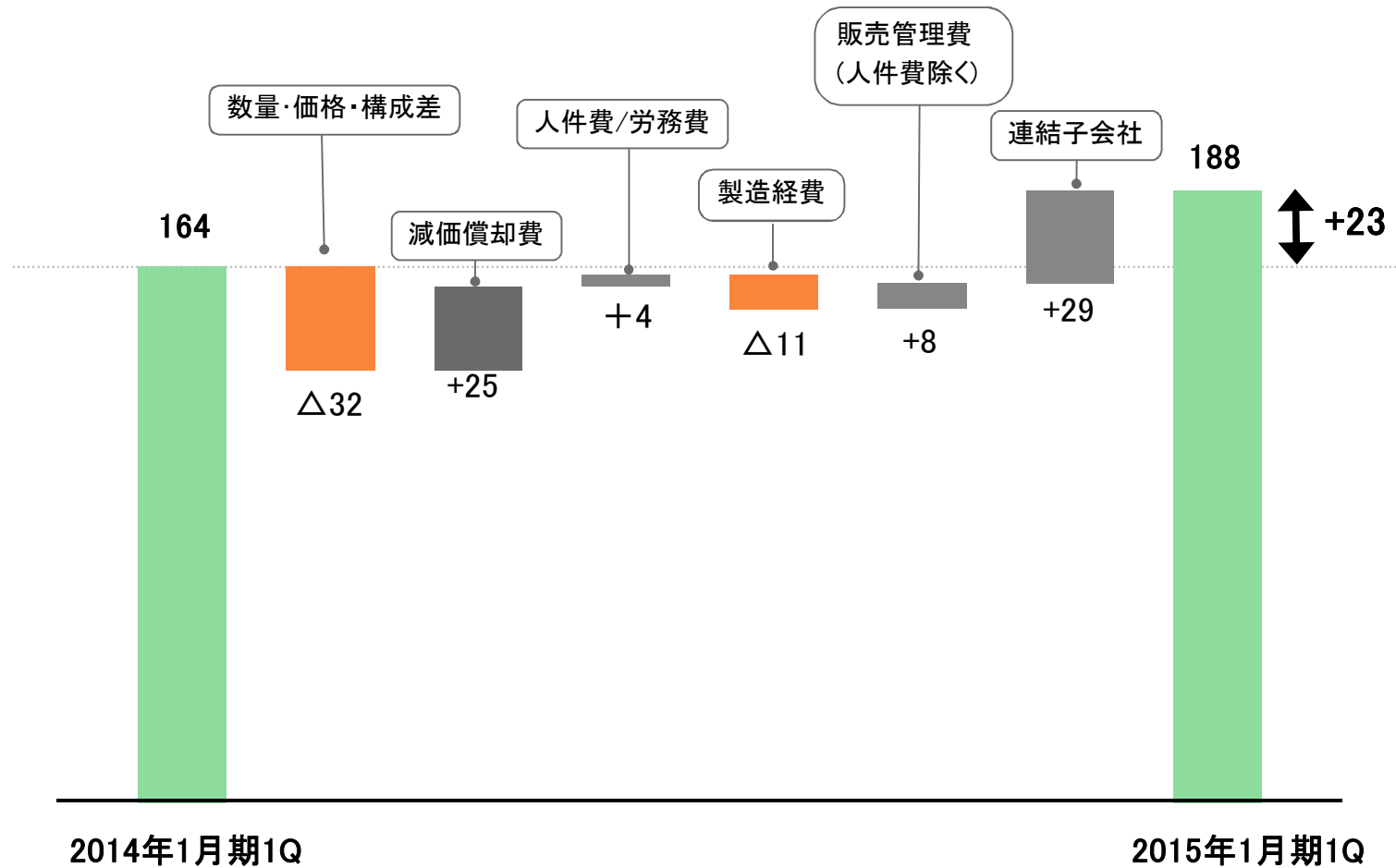




2015年1月期 第1四半期決算概要 ～ 5. 営業利益増減要因分析(連結)

対前年同期比

(単位:百万円)



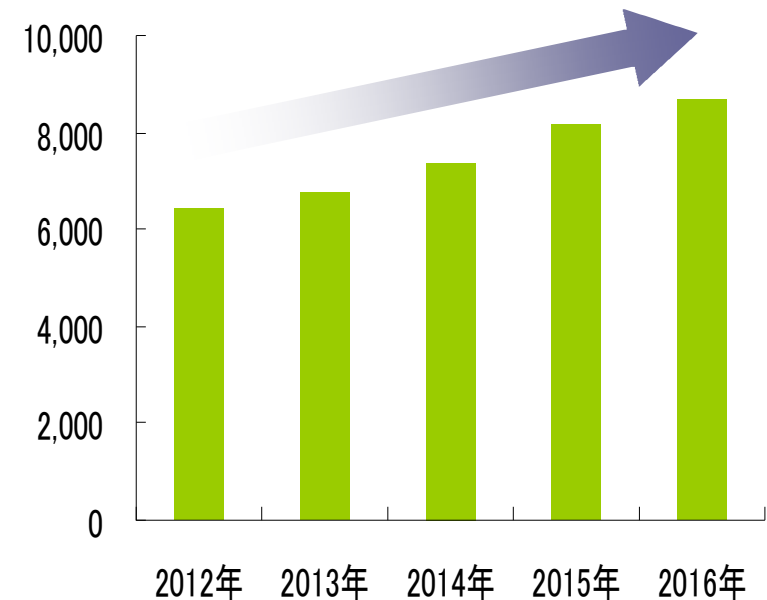


2015年1月期業績予想 ～1. 業績予想サマリー

売上高

- 世界全体の半導体市場規模は、景気循環の影響を受けながらも、マクロ的には緩やかな拡大を続けていく見通しです。
- 当社主力製品FOSBによって搬送される300mmウエハはシリコンウエハ市場の牽引役であり、今後も伸長を続けると予想されています。また、小口径ウエハからの移行や、生産用途の拡大等により、一層裾野を広げていく見通しであります。
- FOSBのリユースについては、足下で全体の容器量の内、30%前後で推移していると予想しています。今後も同様に推移すると見込んでいます。

■300mmシリコンウエハ出荷面積予測(100万平方インチ)



出典: 弊社推測

営業利益、経常利益

- 当社は品質向上と更なるコスト削減による競争力の強化を図ってまいります。
- グループでのコラボレーションを強化し、新分野展開、更なるコストダウンを実施します。
- 成形機事業では、市場動向を注視し、付加価値の高い特殊機に重点を置き、利益の確保に注力してまいります。



2015年1月期業績予想 ～2. 業績予想

損益計算書(連結)

(単位:百万円・%)

	2014年1月期				2015年1月期	
	第2四半期累計		通期累計		第2四半期累計	
	金額	前期増減率	金額	前期増減率	金額	前期増減率
売上高	4,110	△34.6	8,357	△28.0	4,190	1.9
営業利益	368	△72.2	573	△74.0	160	△56.5
経常利益	447	△66.9	733	△67.8	240	△46.3
(当期)純利益	301	△65.3	442	△69.0	140	△53.5

事業別売上高

(単位:百万円・%)

	2014年1月期						2015年1月期		
	第2四半期累計			通期累計			第2四半期累計		
	金額	構成比	前期増減率	金額	構成比	前期増減率	金額	構成比	前期増減率
プラスチック成形事業	3,639	88.5	△33.0	7,198	86.1	△28.1	3,641	86.9	0.1
半導体関連	3,473	84.5	△33.2	6,469	77.4	△32.8	3,342	79.8	△3.8
その他	166	4.0	△27.6	729	8.7	86.7	299	7.1	80.1
成形機事業	471	11.5	△45.2	1,158	13.9	△27.5	549	13.1	16.6
合計	4,110	100.0	△34.6	8,357	100.0	△28.0	4,190	100.0	1.9

■ 現時点において、2015年1月期の1株当たり配当金については未定であります。



経営戦略 ～基本方針

1. 現存事業の競争力強化

コスト削減の徹底と
品質の造り込みにより、
市場でのポジションを
維持・向上。

	【プラスチック成形事業】		【成形機事業】
	工程内容器	出荷容器	縦型射出成形機
当社コア技術を 応用展開し 新製品開発、 販売チャネル拡大	<u>300mm</u> シェア確保	<u>450mm</u> 市場を注視し覇権獲得	グループ内での 技術連携 による事業拡大 ・柱となる商品確立 ～汎用・LIM・TF +装置 ・縦型の特長を 活かせる特殊機

2. 新たな収益源の構築

現存事業で培った技術、獲得した資金、
収集した情報等を活かし、
新たな収益源となるべき
新製品開発・新事業構築に取り組む。

新製品開発	新事業
<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内技術の深化 ・グループ間連携による新分野開拓 	<ul style="list-style-type: none"> ・現存事業以外のドメイン拡大・多角化 ・内外のリソース活用 【外部】業務提携／M&A等 【内部】自社開発

3. グループ基盤の強化

ミライアルグループが保有する、物的資産、金融資産等の「見える資産」を活用し、
人材、技術、お客様との信頼関係等の「見えない資産」の強化に鋭意取り組む。



本日はありがとうございました

「ミライアルの未来」

明日に向かって

「未来を見つめ」「未来を考え」「未来を創る」

夢と創造に挑戦

IR問い合わせ窓口

ミライアル株式会社 経理部

電話: 03-3986-3782 FAX: 03-3986-3853 E-Mail: investor_relations-m@miraial.co.jp

<将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。